

東日本大震災 災害対策本部被害・設置状況に係る調査票

調査日：平成 23 年 4 月 20 日

自治体名	岩沼市	震 度	6 弱
人口（震災前）	44,308 人	世帯数（震災前）	15,937 世帯
死 者 数	166 人	行方不明者数	15 人
避難所数	3 箇所	避難者数	561 人

庁舎並びに被害状況写真の位置図



被害状況の写真 1



沿岸部の被害

被害状況の写真 2



沿岸部の被害

被害状況の写真 3



沿岸部の被害

庁舎の写真 1



庁舎全景

庁舎の写真 3



庁舎前の被害写真の掲示

庁舎の写真 4



庁舎玄関



特設公衆電話

庁舎の状況

- 庁舎は、昭和 49 年 4 月築。
- 市内の 48%が津波により浸水したが、市庁舎は海岸から数 km 奥にあり浸水を免れた。
- 地震直後停電したがすぐに復旧。上下水道や電話等は 3、4 日後に復旧。上水道被害は、給水車で対応、週間で 9 割程度を解消。下水道被害は簡易トイレ等で対処、浄化施設被災で復旧は長期化。
- 市内 2 箇所の指定避難所のほか最大 14 施設に避難者を収容していたが、4/20 現在 4 施設に縮小。

本部室の写真 1



災害対策本部の案内

本部室の写真 2



本部室の様子

本部室の写真 3



自衛隊や国土交通省（東北地方整備局）の派遣

本部室の写真 4



通行止めの位置図

本部室の状況

- 事前計画では 6 階に設置する予定であったが、エレベータが使用不能となったことから、1 階奥の大会議室に災害対策本部を設置（約 20m×20m）。・本部会議は、1 日に 2 回開催。
- 庁議用テーブルに、PC、TV を常備。ホワイトボードや壁面に、被災地地図・航空写真・災害関係資料等を掲示。庁舎内に県職員（2 名）、国土交通省、陸上自衛隊のコーナーを置く。
- 応急仮設住宅は、当面 4 月中に 100 戸を建設、5 月に 400 戸建設を目指す。
- 本部会議内容を公表するため、広報課が「広報いわぬま災害臨時号」を月 2 回ペースで発行。

その他、特筆すべき事項

- 調査時点で、報道機関は見あたらず。
- 地震発生後1月経過し、自衛隊・消防等による行方不明者捜索やがれき処理などの対策を継続中。

(注1) 調査票の各項目に関する出典は、以下のとおり。

人口(震災前): 全国市町村要覧 平成22年版

世帯数(震災前): 全国市町村要覧 平成22年版

死者数: 消防庁被害報第100報(平成23年4月11日11時時点)

行方不明者数: 消防庁被害報第100報(平成23年4月11日11時時点)

避難所数: 宮城県 東日本大震災における被害等状況資料(平成23年4月11日19時時点)

避難者数: 宮城県 東日本大震災における被害等状況資料(平成23年4月11日19時時点)

位置図: 背景地図は「電子国土」(国土地理院)より抜粋

(注2) 「震度」については、気象庁平成23年3月30日報道発表資料(「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」により各地で観測された震度について)による(一部の震度観測点については精査継続中となっている)。